

鴨川市大山支援村だより

[第4号] 2011年11月30日発行

発行人・鴨川市大山支援村代表 小川直男（高藏神社・大山不動尊総代長）

これからも鴨川市大山支援村をよろしくお願ひいたします。

活動報告 6月～11月

福島から親子保養ツアーを受け入れました

6月12日：「元気鴨川2011」に出展（市役所前広場）

写真展示やビデオ上映を通して大山支援村の活動報告を行いました。また福島県飯館村から若手畜産農家の菅野さん夫妻をお招きし、思いを語っていただきました。

6月18日・19日：福島から親子保養ツアー受け入れ

福島市内から35名の親子をお迎えしました。到着早々、校庭や体育館で思いっきり遊び、夜は消防団の方々を中心に地域の皆さんと賑やかにバーベキュー、翌日は市からの招待で鴨川シーウールドを訪問と、盛り沢山に楽しんでいただきました。[協力団体：子どもたちを放射能から守る福島ネットワーク、福島大学]



8月4日・5日：福島から親子保養ツアー受け入れ

福島市内から25名の親子が参加。マザー牧場、温泉「かなや」、鴨川自然王国での農業体験など。[協力団体：アースデイ東京タワー・ボランティアセンター]

11月5日・6日：福島から親子保養ツアー受け入れ

福島市内から親子やボランティアなど15名が参加。校庭での外遊び、「棚田の夜祭り」鑑賞、旧道探検、馬とのふれあい、地元イノシシ肉のバーベキューなど。[協力団体：福島市小鳥の森、福島大学]

寄せられた物資を被災地支援に役立てました

布団、日用品、衣類、調理器具など、皆様から多数お寄せいただきました物資は、3月の支援村発足時からこれまで様々に活用させていただきました。支援村に宿泊

された方々に使っていただいただけでなく、被災地からの要請を受けて支援物資の寄贈も行って参りました。あらためて地域の皆様のご協力に感謝申し上げます。

●支援物資寄贈先

5月 相馬市：おひさまカフェ（被災者のための休憩所）へ食器類 [協力団体：おひさまプロジェクト]

6月 石巻市：市立渡波小学校へ布団10組 [同：AWA311]

11月 石巻市：雄勝町オーガツツへ布団25組 [協力団体：リサイクルの会コスマス]

11月 鴨川青年の家で避難生活中の方々：生活用品など年内調整中 **相馬市：**相馬原釜朝市へ防寒着、子供服、日用品、調理器具など [協力団体：おひさまプロジェクト]

残りの物資の一部は鴨川市内の諸団体（学校、ボランティア団体など）にも寄贈して役立てていただくことになりました。またさらに、お気持ち程度のカンパをいたたく形での支援バザーを地域で近日中に開きたいと考えております。頂戴しましたカンパは全額、被災地への物資輸送の送料に充てさせていただきます。

支援村は、これからも頑張ります！

これまで築いて来た被災地や協力団体とのつながりを生かして、息の長い支援活動に継続して取り組んでいきたいと考えています。親子保養ツアーへのご要望の声は福島から継続して寄せられています。地域の皆様、諸団体と調整しつつ、受け入れ実現に向けて動いて参ります。

またこれまで折々に、市外や県外から数多くのボランティアの方々も駆けつけて下さいました。都市の若い世代と交流を進めることなどを通して、活気のある、災害に強い地域作りにも貢献していきたいと願っております。

被災地—大山・鴨川—都市にきずなを結び、互いに支援し支援される豊かな関係作り・地域作りを鴨川市大山支援村は目指していきます。ご期待下さい！

地域の皆様に厚く御礼を申し上げます

鴨川市大山支援村代表 小川直男

三月におきた東日本大震災をきっかけに急きょ結成された鴨川市大山支援村に、今までご厚情をいただき誠にありがとうございました。地域の皆様の物心両面のご支援を受け、福島市から三回にわたり母子を受け入れ、それぞれ短期間であったものの、十分にゆったり過ごしていただきました。「子どもたちはグランドを駆け回り、鴨川の穏やかな自然の中で過ごせ、とてもゆっくりできました」と、お母さん方も喜んでいました。旧大山小を舞台にしての大山支援村活動は一旦区切りをつけますが、場所を移して継続的に東北、福島の支援をしていきたいと考えております。今後とも、ご指導、ご鞭撻そしてご協力をよろしくお願いします。

鴨川市大山支援村は地域の皆様、そして市と市教育委員会のご理解・ご協力を得て、旧大山小学校の校舎を舞台に活動を行って参りました。このたび年内までの校舎使用の期限を迎える、いま私たちは別の舞台へと新たな出発を準備しております。地域の皆様には、これまでの感謝を申し上げますとともに、これからも変わらぬご声援、ご協力を賜りたく、心よりお願い申し上げます。（鴨川市大山支援村事務局スタッフ一同）